



思いを込めてリボンを作る保護者と教職員＝22日夜、新宮市立城南中学校

温かい気持ちを生徒らに

城南中でオレンジリボン制作

新宮市

新宮市立城南中学校（中田善夫校長）育友会人権部会（岩澤遊水部長）は22日夜、11月の児童虐待防止月間に合わせ生徒たちに身に着けてもらうオレンジリボン約200個を制作した。保護者や教職員約20人が、一つ一つ思いを込めて丁寧に作業した。

同部が主催し、子どもたちを保護者の温かい気持ちで包み、やがて子どもたちが守ってあげられる側の人間に成長してほしいとの願いから取り組み今年で6年目。生徒にとってはオレンジリボンを通じて保護者の気持ちを受け取り、児童虐待防止に関して学ぶ機会となっている。

保護者が学校と地域をつなぎ、みんなが温かな

気持ちになれるよう進めている。11月には各学年を対象に授業を実施し、学びを深めていく予定。生徒らは月間中、制服にオレンジリボンを着けて登校する。

オレンジリボン制作に参加した皆さん



意識を高めてほしいです」と語った。森浦主幹教諭は「人権というと難しく捉えてしまいます。常に『一人じゃない』ことを分かってほしい。保護者の方々や教職員で心を込めて作ったりリボンを着けてもらい、元気に明るく学校生活を送ってもらえれば」と話していた。

（榮本康人）